

第25回 「私の中で今、生きているあなた」 パネル展IN倉吉

パネル展に230名、フォーラムに60名が来場しました

2011.8.20(土)

日 本 海 新 聞

差別や偏見なくす

自殺者遺族グループ「コスモスの会」

倉吉 パネル展やフォーラム

過労やうつ病などで自殺に追い込まれた人たちが遺族について正しく理解してもらいたいと、とっとり自殺遺族自助グループ「コスモスの会」は20日、倉吉市駄経寺町の倉吉未来中心で、パネル展とフォーラムを開催する。19日に会見を行い、多くの人の来場を呼び掛けた。

自殺者の遺族への差別や偏見をなくすこと、自殺予防、自殺した人や家族の名誉回復などを目的に行われ、

フォーラムを開催する。コスモスの会世話人の厨子麗子さん(60)は2004年に夫の敏明さんを亡くした。夫の死のショックに加え、心ない周囲の態度などで二次被害も体験。「地獄に落ちたように。知人にも避けられ、



自殺者遺族の思いを語る厨子さん＝19日、倉吉市駄経寺町の倉吉未来中心

会場の倉吉未来中心アトリウム



1年ほど日中に外出できず、精神的に落ち込んだ」といいます。

会見では、パネルを展示したNPO法人働く者のメンタルヘルス相談室の伊福達彦理事長が「社会的な諸条件などが重なって亡くなった人の名誉回復に『なげたい』などと思いを訴えた。

パネル展「私の中で今、生きているあなた」は、倉吉未来中心アトリウムで、午前10時から午後5時まで。150枚のパネルが並び、亡くなった人や遺族の写真、残された最後の言葉、自殺をする若者たちの実態、悲しみを訴える遺族の声などが紹介されている。

フォーラム「伝えたい遺族の想い」は午後1時半から同所のセミナールーム1で。厨子さんが登壇し、意見交換などを行う。パネル展も、フォーラムとも入場無料。